

Hitachi Koki

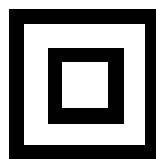
日立連結ねじインパクトドライバ

無段変速

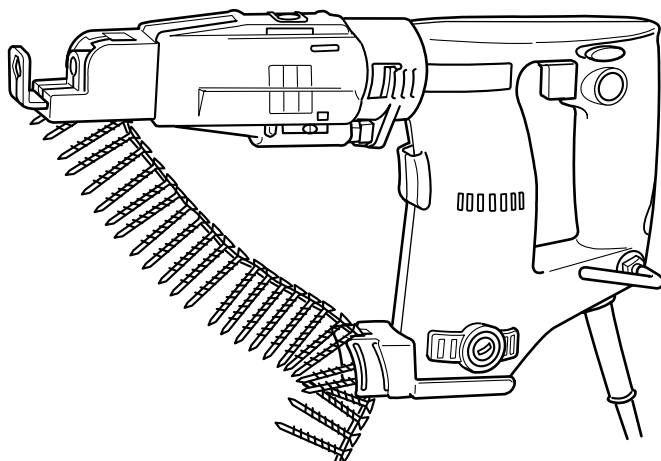
4mm WF 4V

取扱説明書

このたびは日立連結ねじインパクトドライバをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



二重絶縁






HITACHI


目 次


ページ


電動工具の安全上のご注意	2
連結ねじインパクトドライバの使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕 様	7
標準付属品	7
別売部品	8
用 途	10
作業前の準備	10
連結ねじアタッチメントの取りはずし方・取付け方	11
ベルトガイドの取りはずし方・取付け方	12
フックの取付け方	13
ゴムカバ(B)の取付け方	13
ねじの選び方	14
ご使用前に	15
ねじ長さとしり付け深さの調整	16
連結ねじの取付け・取りはずし	17
使 い 方	19
締め作業上の注意	21
ねじの取扱い	23
保守・点検	24
ご修理のときは	25
全国営業拠点	裏表紙


警告， 注意， 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「 注」の意味も説明します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



警告

- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
 - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - さし込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警 告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑲ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

⑳ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉑ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組み立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。

電気システムの分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターにご用命ください。

連結ねじインパクトドライバの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、連結ねじインパクトドライバとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警 告

- ① **使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- ② **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③ **使用中は、振りまわされないよう本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ **使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。
- ⑤ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- ① 工具類(ビットなど)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実でない、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
また、コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- ⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

各部の名称

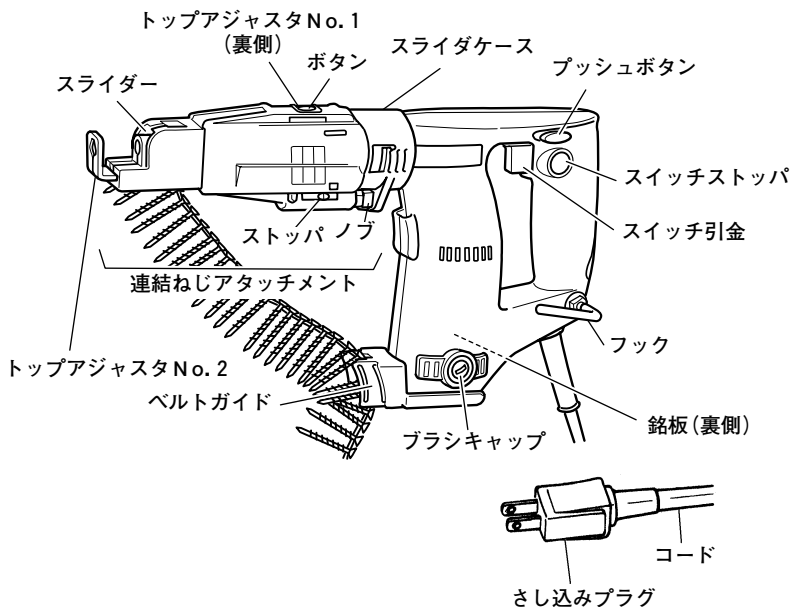


図 1

仕 様

使用電源	単相交流 50 / 60 Hz 共用	電圧 100 V
能力	木下地用 (ボード用ねじ)	: 長さ 25 mm ~ 41 mm
(使用ねじ)	木下地用 (コンパネ用ねじ)	: 長さ 28 mm ~ 41 mm
	銅製・木下地用 (ステンレスねじ)	: 長さ 25 mm, 32 mm
	銅製下地用 (ドライウォール用ねじ)	: 長さ 25 mm ~ 41 mm
締付トルク	最大 98 N·m { 1000 kgf·cm }	

M 12 高力ボルト (強度区分 12.9)
 電圧 100 V
 締付時間 3 秒
 ヘグザゴンソケット 使用
 継ぎコードなしの場合

詳細は 23 ページ
の図 24 参照

モーター	単相直巻整流子モーター
全負荷電流	3.2 A
消費電力	300 W
無負荷回転数	0 ~ 2300 min ⁻¹ { 0 ~ 2300 回 / 分 }
打撃数	0 ~ 3400 min ⁻¹ { 0 ~ 3400 回 / 分 }
コード	2 心キャブタイヤコード 5 m
質量	1.8 kg (コードを除く)

標準付属品

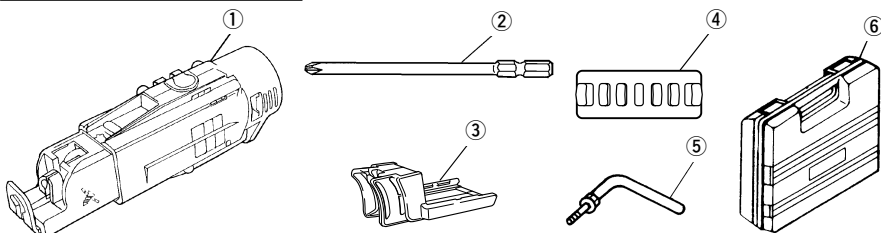


図 2

- ※ ① 連結ねじアタッチメント..... 1 個
- ② プラスドライバビット (No.2, 長さ 114 mm) 1 本
- ③ ベルトガイド..... 1 個
- ④ ゴムカバ (B)..... 1 個
- ⑤ フック..... 1 個
- ⑥ プラスチックケース..... 1 個

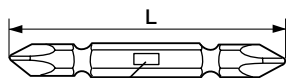
※連結ねじアタッチメントには、トップアジャスタ No. 1, No. 2 付。

別売部品

…………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

連結ねじアタッチメントをはずして使用する場合

1. プラスドライバビット



ビットNo.

図 3 - 1

ビット No.	L (mm)	コードNo.
No. 2	45	983005
	65	983006
	110	983007
	150	983008
No. 3	45	983010
	65	983011
	110	983012
	150	983013

2. ドライバビット

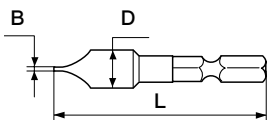


図 3 - 2

品名	B (mm)	D (mm)	L (mm)	コードNo.
ドライバビット 4 mm	0.8	7	50	955658
			70	955659
ドライバビット 6 mm	1	9	50	955673
			70	955674

3. ヘグザゴンソケット

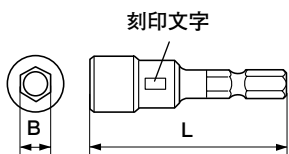


図 3 - 3

品名	刻印文字	L(mm)	B(mm)	コードNo.
5 mmヘグザゴンソケット	8	55	8	955677
6 mmヘグザゴンソケット	10	55	10	955678
5/16"ヘグザゴンソケット	12	55	12	996173
8 mmヘグザゴンソケット	13	55	13	955679
10 mm (小形)ヘグザゴンソケット	14	55	14	996174
10 mmヘグザゴンソケット	16	55	16	996175
10 mmヘグザゴンソケット	17	55	17	996176
10 mmヘグザゴンロングソケット	17	127	17	302387
12 mmヘグザゴンロングソケット	19	115	19	996191
12 mmヘグザゴンロングソケット	19	170	19	305068
1/2"ヘグザゴンロングソケット	21	115	21	305067
1/2"ヘグザゴンロングソケット	21	170	21	996187
14 mmヘグザゴンロングソケット	22	170	22	996192
P コン用ソケット	12	115	12	996189
フォームタイ用ソケット	無	120	-	996188

4. ヘグザゴンビット

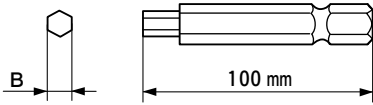


図 3 - 4

品 名	B(mm)	コード No.
5 mmヘグザゴンビット	4	955686
6 mmヘグザゴンビット	5	955687
8 mmヘグザゴンビット	6	996183

5. 木工錐

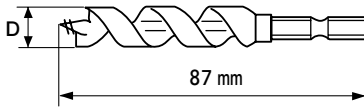


図 3 - 5

品 名	D(mm)	コード No.
木工錐 9 mm (ドライバ用)	9	959175
木工錐 10.5 mm (ドライバ用)	10.5	959176
木工錐 12 mm (ドライバ用)	12	959177
木工錐 14 mm (ドライバ用)	14	959182

6. ドリルチャックアダプタセット……………コードNo. 996193

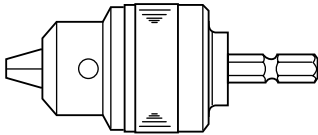


図 3 - 6

市販の木工錐で穴あけ作業を行なう場合にご使用ください。

7. ソケットアダプタ

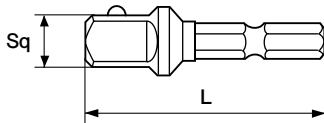


図 3 - 7

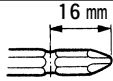

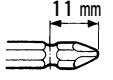

品 名	Sq(mm)	L(mm)	コード No.
ソケットアダプタ (A)	9.5	45	305069
ソケットアダプタ (B)	12.7	55	305070

8. ビットピース……………コードNo. 996184



図 3 - 8

当社指定のビットはすべてLタイプですのでビットピースは不要です。ビットピースはSタイプのビットを取付ける場合にご使用ください。

Lタイプ			ビットピースは不要です。
Sタイプ			ビットピースが必要です。

9. ストッパ……………コードNo. 310396

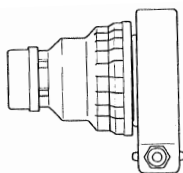


図 3 - 9

ねじの締付け深さ調整用に、ご利用ください。
使いかたは、ストッパに添付している説明書を
よくお読みください。

用 途

- 建築内装の石こうボードの締付け作業
- 木下地のコンパネ締付け作業

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1. 継ぎ(延長)コード……………

⚠ 警 告

- 継ぎ(延長)コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm ²	20 m
1.25 mm ²	30 m
2 mm ²	50 m

左の表は、使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

2. 作業環境の整備・確認……………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

連結ねじアタッチメントの取りはずし方・取付け方

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチが切れていることを確かめてください。

1. 連結ねじアタッチメントの取りはずし……………

本体を片手で固定し、もう一方の手で連結ねじアタッチメントを図4-1の矢印①の方向に回転させます。本体の◁マークと連結ねじアタッチメントの▷マークを合せ、図4-2の矢印②の方向に引き、取りはずします。

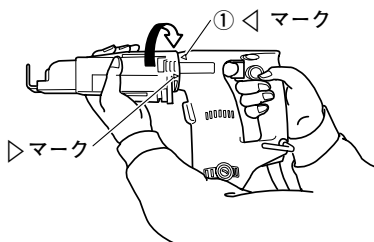


図 4-1

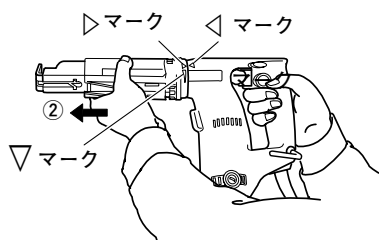


図 4-2

- 注** • アタッチメント取付け口付近に石こう粉が付着すると、取りはずしにくくなります。石こう粉が付着しないように、こまめに清掃するようにしてください。

2. 連結ねじアタッチメントの取付け……………

取りはずし方と逆の要領で行ないます。本体の◁マークと連結ねじアタッチメントの▷マークが合うように連結ねじアタッチメントを本体にかぶせ、その後、連結ねじアタッチメントの▽マークの方向に回転させ固定します。

(図4-2)

3. ビットの取付け、取りはずし……………

プラスドライバビット (No.2, 長さ 114 mm) 以外のビットでは連結ねじの締付作業は行なえません。

ビットは、次の手順で確実に取付けてください。

ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットをアンビルの六角穴にさし込み、ガイドスリーブを離します。

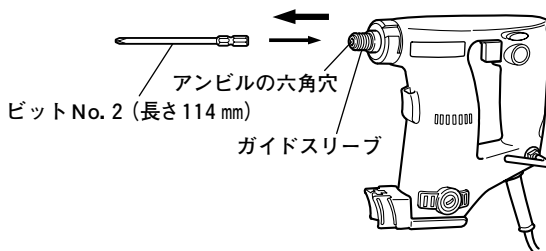


図 5

取りはずす場合は、取付け方と逆の要領で行なってください。

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットがアンビル六角穴の奥まで突き当たるまで入れてください。
 - 上記サイズ以外のビット、またはSタイプにビットピースを取付けずに無理に使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずしが固くなる場合があります。

ベルトガイドの取りはずし方・取付け方

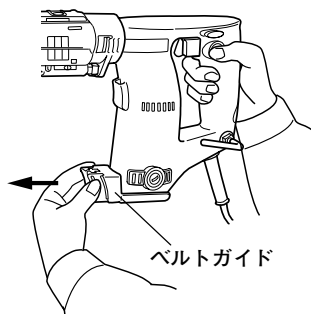


図 6-1

インパクトドライバとしてご使用になるときは、ベルトガイドを指でつまんで矢印の方向に引張ると、ベルトガイドが取りはずせます。(図6-1)

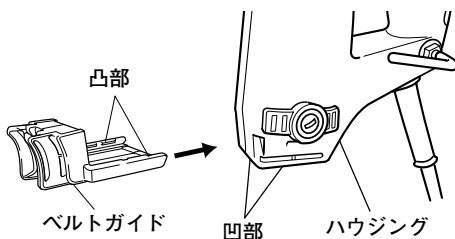


図 6-2

ベルトガイドを取付けるときは、ベルトガイドの凸部をハウジングの凹部に合わせて、矢印の方向にカチッとなるまで差し込んでください。(図6-2)

フックの取付け方

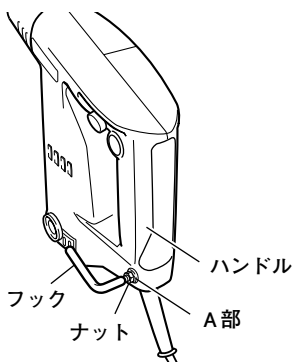


図 7

(1) フックを本体A部の穴にさし込み、時計方向に回します。

ナットがハンドルの座面についたらスパナでしっかり締付けます。(図7)

(2) フックは反対側にも取り付けることができます。同じ手順で行なってください。

(3) フックは腰ベルト、または最大径32mmまでのパイプなどに掛けることができます。

ゴムカバ(B)の取付け方

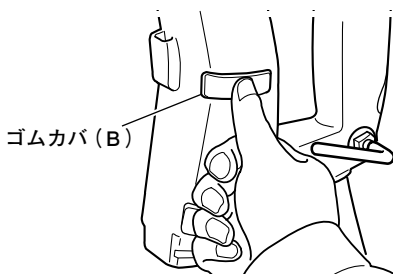


図 8

風窓からの風が気になるときは、付属のゴムカバ(B)を風窓に取付け、ふさいでください。

突起部を風窓にしっかり押し込みます。横から順番に押し込むと取付けが簡単です。

- 注** • ゴムカバ(B)で本体片側の風窓をふさいだときは、その反対側の風窓はふさがず、全開の状態にしてください。
モーター焼損の恐れがありますので注意してください。

ねじの選び方

本機は図9に示すテープ連結ねじを使用します。また、ねじは表1に示すねじを準備してあります。

ねじ締め作業の用途に合わせて適切なねじをお選びください。

ねじは連結ねじドライバをお買い上げの販売店でお求めください。

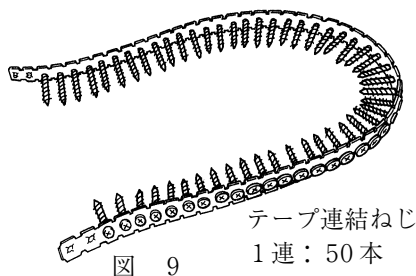
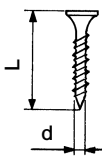
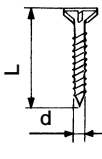
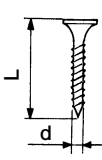
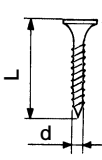


図 9

注 ・異常締め付け(ねじ倒れ・浮き)、故障(ねじづまり・ビットの摩耗)の原因になるので、指定外のねじは使用しないでください。

表1 連結ねじドライバ用テープ連結ねじ一覧表

長さL(mm)		ねじ名称・表面処理・形状	軸径(d)(mm)	形式	
木 下 地 用	25	ボード用ねじ ダクロメタル		S H 3925	
	25			S H 3925U	
	28			S H 3928	
	28			S H 3928U	
	32			S H 3932	
	32			S H 3932U	
	35			S H 3935	
	38			S H 3938	
	41			S H 3941	
	28			フレキ付コンパネ用ねじ ユニクロ (フレキ付スーパーウッド ねじ)	
32	SH 3932WF				
41	SH 3941WF				
鋼 製 下 地 用	25	ドライウォール用ねじ ステンレス		3.5	SD 3525 S
	32			SD 3532 S	
鋼 製 下 地 用	25	ドライウォール用ねじ ユニクロ		3.5	S D 3525
	32				S D 3532
	41				S D 3541

ご使用前に



警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと、不意に起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金(図1参照)を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引き、離れたとき引金に戻ることを必ず確認してください。

3. ビットの確認と交換……………

連結ねじインパクトドライバとして使用する時は、専用のプラスビット(No.2, 長さ114mm)を使用する必要があります。

ビットが損傷していないか必ず点検してください。摩耗したビットを使用しますと、ねじ締め不良の原因になります。作業前にビットを点検し、早めに新品と交換してください。もし、ビットの損傷などにより交換する必要がある場合は、11ページの「連結ねじアタッチメントの取りはずし方・取付け方」の項を参照し、ビットを交換してください。

注

- 必ず連結ねじドライバ専用の当社指定のビットを使用してください。連結ねじドライバ専用の当社指定のビット以外では、ねじ浮きやねじ送り不良の原因になるので、使用しないでください。

4. ボルトにあったソケットの選定……………

ボルト、ナットのサイズにあったソケットをご使用ください。

サイズの異なったソケットを使用しますと適正な締付トルクが得られないだけでなくソケットやナットを損傷いたします。

5. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

ねじ長さ と 締付け深さの調整

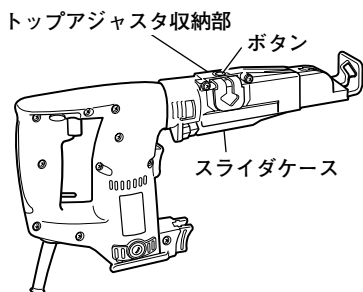


図 10

本機はノブを回すことにより締付け深さを調整することができます。

締付け深さは、ノブを回して、ストップをスライダーケースの数字(ねじの長さ)に調整します。

使用するねじの長さに合わせて、トップアジャスタを選び、先端に取付けてください。(図11, 図12参照)

ご使用にならないトップアジャスタは、スライダーケース側面の収納部へ保管してください。図10のボタンを押すと簡単に収納できます。

(1) ねじ長さ(L)25mm~32mmのねじの場合〔トップアジャスタNo.1(小)を使用します。〕

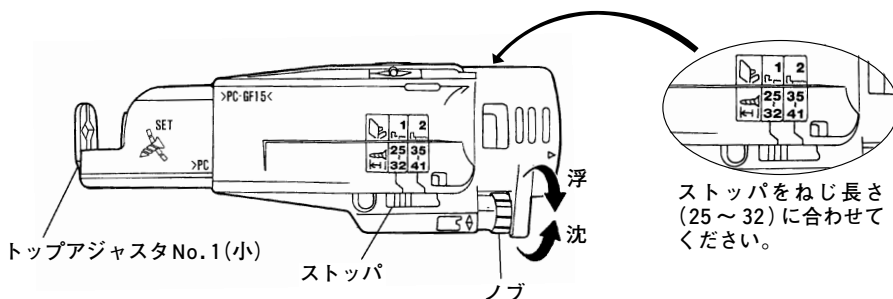


図 11

ストップをねじ長さ(25~32)に合わせてください。

(2) ねじ長さ(L)35mm~41mmのねじの場合〔トップアジャスタNo.2(大)を使用します。〕

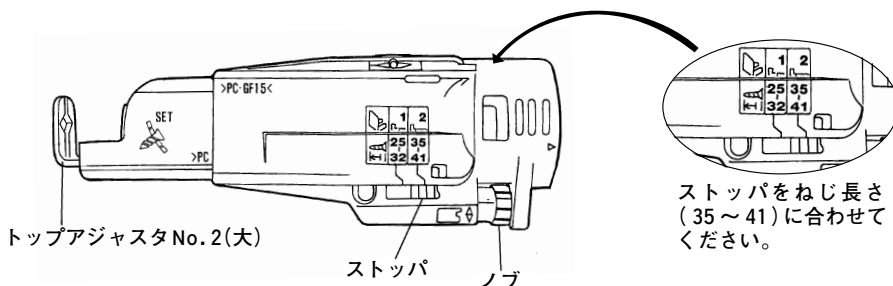
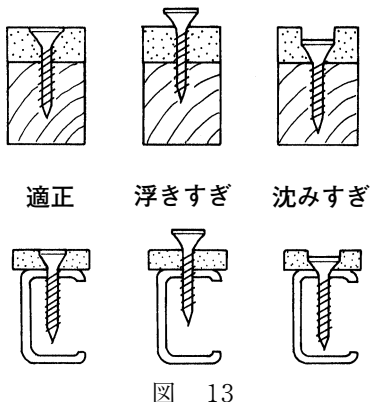


図 12

ストップをねじ長さ(35~41)に合わせてください。

〔締付け深さの微調整のしかた〕



前記の(1), (2)の締付け深さの調整はあくまでも目安です。

試し打ちし、微調整してください。

ねじの頭が浮きすぎる場合は、ノブを ↺ の方に回します。

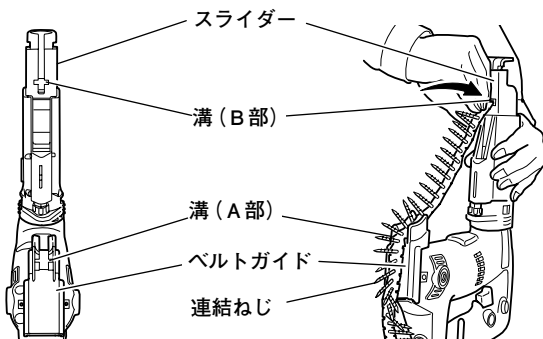
ねじの頭が沈みすぎる場合は、ノブを ↻ の方に回します。

(図 11, 図 13 参照)

連結ねじの取付け・取りはずし

1. 取付け……………

- (1) 連結ねじのテープ先端をベルトガイドの溝(A部)にさし込みます。
- (2) 次に、テープ先端をスライダの溝(B部)にさし込み、→ 方向に押し込むように送り込みます。(図 14, 図 15, 図 16)



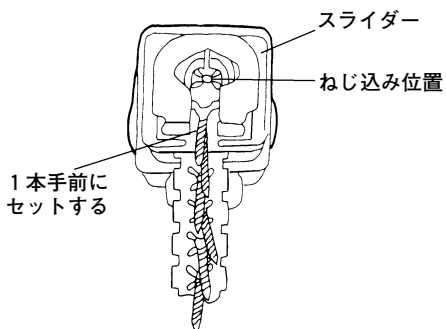
〔下から見た図〕

図 14

図 15

- (3) 連結テープは、1本目のねじをスライダのねじマークに合うようにセットしてください。(次ページの図 16, 図 17)

注 • 図のようにセットしないと、ビットでボード表面に傷ついたり(送り不足), ねじをムダにしたり(送りすぎ)する原因になります。



〔前から見た図〕

図 16

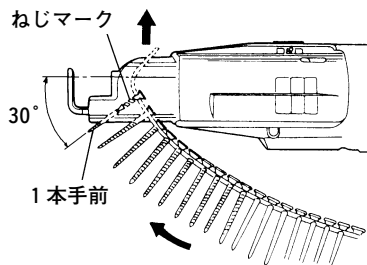


図 17

2. 取りはずし…………

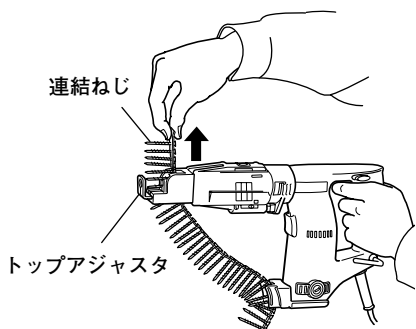


図 18

テープのねじが無くなったり、途中で連結ねじを取りはずすときは、図18に示すように → の方向に引いて取りはずします。

使 い 方

⚠ 警 告

• 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。

1. 操作の仕方……………

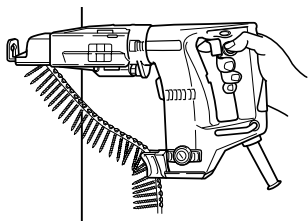
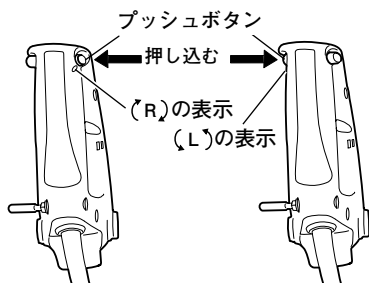


図 19

スイッチ引金を引いて、連続運転の状態
で本体をまっすぐ対象物に当てて押し付け
ますと、ねじが自動的に送られ、締付けさ
れます。(図19)

2. スイッチの操作、回転方向の切替え……………



〔本体をハンドル側から見た図〕

図 20 - 1 正回転

図 20 - 2 逆回転

○図 20 - 1 のようにプッシュボタンの (R) 側を押すと先端工具はハンドル側から見て右に回り(正回転)、
図 20 - 2 のように (L) 側を押すと左に回ります(逆回転)。
((R) (L) は外枠に表示してあります。)

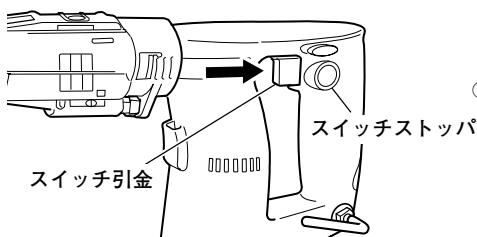


図 21

○スイッチ引金の引込み量により 0 ~
2300 min⁻¹ { 0 ~ 2300 回/分 }
まで無段階に回転数が変わります。

(図 21)

○スイッチはスイッチ引金を引いてから
スイッチストッパを押すと、指を
離しても入ったままになっており連
続運転に便利です。切るときは再び
スイッチ引金を引いてから離します
とスイッチストッパははずれます。

(図 21)

注 • 運転中、プッシュボタンの切替えはできません。切替える場合は、必ずスイッチを切ってから操作してください。

3. ねじの締付け、ゆるめ操作……………

ご使用になるねじに合ったビットを取付け、ビットの先をねじ頭部の溝に当て締付けます。

押付け力はねじの頭からビットがはずれない程度の力で十分です。

4. 隅部の締付け及び手直し作業……………

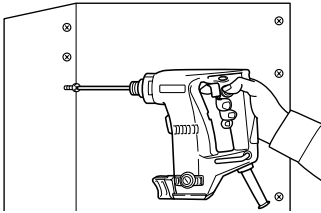


図 22

壁ぎわや柱のすぐ側など、連結ねじアタッチメントをつけて、ねじ締めできないくらいせまい箇所へのねじ締めを行なう場合や、締付けたねじを取はずしたり、締め直したりするときには、連結ねじアタッチメントをはずして作業してください。

締付作業上の注意

1. 使用電源の電圧を調べてください……………

銘板記載の電圧(100 V)より高い電圧でご使用になりますと、整流火花が大きくなり、モーターが故障する原因になりますので、昇圧器使用時は特に電圧に注意してください。

2. 変速スイッチの使用上のご注意……………

スイッチは回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。従ってスイッチ引金の引き込み量が少ない状態(低速回転域)でモーターを停止させるねじ締め作業を連続的に行ないますと電子回路部品の温度上昇が高くなり、焼損の原因となります。

3. 本体を対象物にまっすぐに当てて締付ける……………

対象物に対し、本体が斜めになりますと、ねじの頭部をいためたり、ビットの摩耗につながります。また、所定の締付トルクがねじに伝わらず、ねじ浮きの原因になります。

4. 締付け終了まで本体をしっかり押しつける……………

途中で押し付けをゆるめると、ねじ浮きの原因になります。

5. ねじの上にねじを締めるとねじが倒れたり、次のねじが送られませので、注意してください。

6. ねじ径に合ったビットを使用する……………

ネジ径に合ったビットを使用しないと、ねじ頭部をいためますのでご注意ください。

7. ねじに合った締付時間で……………

ねじの適正締付トルクはねじの材質やサイズ、締付物の材質などによって異なりますのでねじに合った締付時間で作業してください。

特にM6以下の場合、締付時間を長くしますとねじが切れる恐れがありますので事前に締付時間と締付トルクを確認してから作業してください。

8. 空打ちの注意……………

連続してねじを締めていると、ねじが無くなったのに気が付かず、そのまま使用することがあります。

空打ちしますと、ビットで石こうボードを傷つけてしまいますので、ねじの残り本数を見ながら締付けてください。

9. スライダーがスムーズに動かなくなったときは……

エアガン等で、スライダーをスライダケースのスライド面、スライダー上部のローラー部を掃除してください。(図 23)

- 注** • 特に上向き作業は石こうボードの粉をかぶり易いので、定期的にはスライド面、ローラー部の掃除を行いながら作業してください。

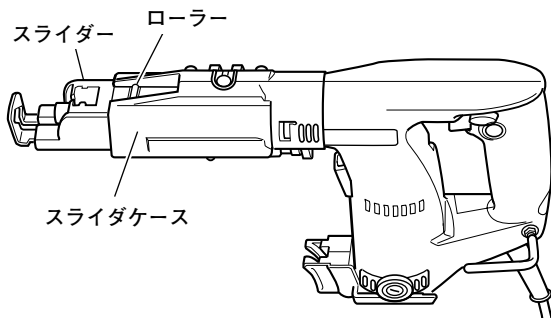


図 23

10. 締付トルク (インパクトレンチとしてご使用になるとき) ………

図 24 - 4 に示す締付条件でのボルトサイズごとの締付トルクを図 24 - 1, 24 - 2, 24 - 3 に示しますので参考にしてください。なお, 締付トルクは締付条件により変化するので一応の目安としてください。

注 ・ 締付けるボルトに対し, 本体が斜めになると, 所定の締付トルクがボルトに伝わりませんので, 締付けるボルトと本体はまっすぐにして締付けてください。

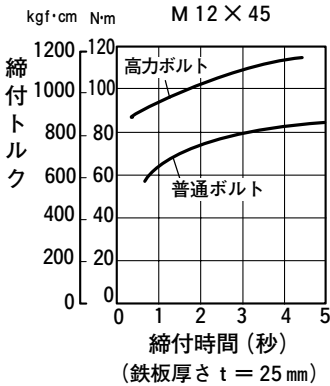


図 24 - 1

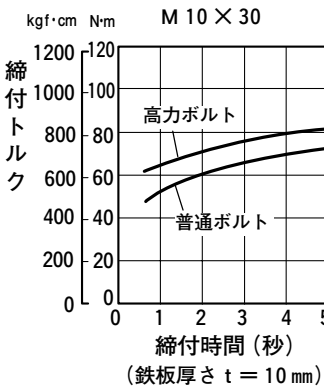


図 24 - 2

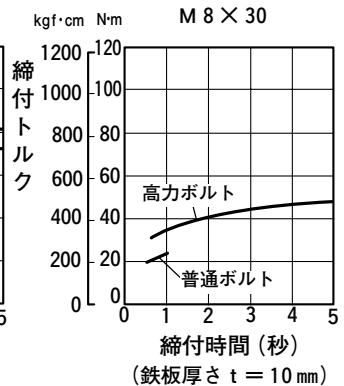


図 24 - 3

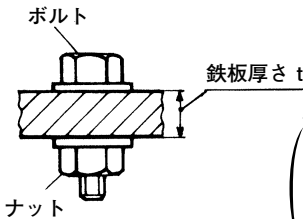


図 24 - 4

* ボルトは右記を [普通ボルト: 強度区分 4.8] 使用しています。 [高力ボルト: 強度区分 12.9]

強度区分の説明

4.8	→ ボルトの降伏点	320 N/mm ²	{ 32.6 kgf/mm ² }
	→ ボルトの引張強さ	400 N/mm ²	{ 40.8 kgf/mm ² }

ねじの取扱い

注 ・ ねじの梱包箱, 連結ねじ単体いずれの場合も扱いをていねいにしてください。落としますと, 連結テープからねじがはずれたりし, ねじ送り不良となる場合があります。

ねじは長時間外気や直射日光にさらさないでください。さびの発生や, 連結テープに不具合が生じる場合がありますので, 使用しないときはねじ梱包箱などに入れておいてください。

保守・点検

警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1. ビットの点検……………

ビットの先端部が摩耗したり折損したものをそのままご使用になりますとねじ頭部をいためますので早めに新品と交換してください。

2. 各部取付けねじの点検……………

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3. カーボンブラシの点検……………

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度(5 mm)ぐらいになりましたら新品と交換してください。

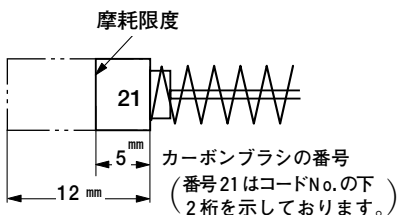


図 25

また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

- 注** •新品と交換の際は、必ず図示の番号(21)の日立カーボンブラシを使用してください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取り出せます。

4. モーター部の取扱いについて……………

モーター部の巻線部分とは本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり洗油や水をつけたりしないよう十分に注意してください。

- 注** •モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。50時間ぐらい使用したら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング下部の風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。

5. 表面のよごれの清掃……………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は、かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6. 製品や付属品の保管……………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- | | | | |
|---|--|---|---------------------|
| { | <ul style="list-style-type: none">○ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所○ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所○ 温度が急変する場所○ 直射日光の当たる場所○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所 | } | このような場所
には保管しない。 |
|---|--|---|---------------------|

ご修理のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ

モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号(No.)				電話番号

- 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全国営業拠点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目(日生ビル) ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟) ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号(コスモ栄ビル) ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番 ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号(スノークリスタル) ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号(第一生命ビル) ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

- 電動工具ご相談窓口 — お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター 0120-20 8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

